

# 県産農畜水産物輸出品目拡大方針作成業務委託に係る 企画提案公募要領

## 1 趣旨

山梨県では、これまでモモ、ブドウ、スモモの日本一の産地として、県産果実の輸出拡大に向けて香港や台湾等のアジア地域を中心にプロモーションを実施し、上質さを提供する「やまなし」ブランドとして認知され、評価を得ている。今後は、果実以外の県産農畜水産物へ横展開し、海外需要を取り込むことで、「やまなし」ブランドの更なる浸透を図り、生産者の所得向上につなげていく。

本業務では、新たに輸出拡大を目指す本県農畜水産物について、戦略的に輸出拡大を図るための基本的な戦略（以下「輸出戦略」という。）を県が策定するため、マーケティング調査を実施し、調査対象国・地域における需要を把握するとともに、適切なターゲティング、ブランディング、効果的なプロモーション手法等を検討の上、品目毎の輸出拡大に向けた方針を作成する。

## 2 企画提案を求める業務の概要

### (1) 委託業務の名称

県産農畜水産物輸出品目拡大方針作成業務

### (2) 委託業務の内容

別紙「県産農畜水産物輸出品目拡大方針作成業務仕様書（以下「仕様書」という。）」のとおり。

### (3) 予算上限額

本業務に係る委託料の上限額 金5,989,500円

（うち取引に係る消費税及び地方消費税相当額544,500円）

ただし、この金額は契約時の予定価格を示すものではなく、企画内容の規模を示すものである。

### (4) 業務委託期間

委託契約締結日を始期とし、令和6年2月29日（木）を終期とする。

### (5) 業務の流れ

#### ア 委託業務内容詳細の協議

採択された企画提案をもとに、業務実施の詳細、具体的な実施スケジュールなどについて、県と受託事業者で協議し決定する。

#### イ 委託業務の実施

受託事業者は契約後遅滞なく、本件企画提案公募で採択された企画提案書、仕

様書、上記「ア」の協議結果を踏まえて委託業務を開始する。

## ウ 実施報告

業務の実施結果を報告書にまとめ、県に提出する。

## 3 応募資格

応募できるのは、次に掲げる要件を全て満たす者とする。

- ・ 本件業務に類似する業務の経験や専門知識を有していること。
  - ・ 本件業務が効果的に実施できる体制が整えられていること。
  - ・ 本件業務の実施に支障が無い経営状況にあること。
  - ・ 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4（一般競争入札の参加者の資格に関する規定）の規定に該当しないこと。
  - ・ 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づく更生手続開始の申し立て、又は、民事再生法（平成11年法律第225号）に基づく民事再生手続開始の申し立てがなされている者（更生手続開始又は民事再生手続開始の決定を受けた者を除く。）でないこと。
  - ・ 「山梨県建設工事請負契約に係る指名停止等措置要領」及び「山梨県物品購入等契約に係る指名停止等措置要領」による指名停止措置期間中の者でないこと。
  - ・ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員でないこと、又は法人にあっては、その役員が暴力団員でないこと。
  - ・ 法人税、消費税及び地方消費税、都道府県税の滞納がない者であること。
- ※ 上記の条件を満たしている者であっても、不正又は不誠実な行為があった場合は、応募を認めないことがある。

## 4 日程

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| ・ 令和5年 8月25日（金） | 公募開始             |
| 9月 7日（木）午後3時必着  | 質問受付期限           |
| 9月19日（火）午後5時必着  | 参加申込書提出期限        |
| 9月25日（月）午後5時必着  | 企画提案書提出期限        |
| 9月29日（金）予定      | 企画提案プレゼンテーション審査  |
| 10月 2日（月）以降     | 採択通知・契約締結・業務着手   |
| ・ 令和6年 2月29日（木） | 業務完了（業務完了報告書の提出） |

## 5 企画提案の応募及び審査等

### (1) 担当部署（書類提出先・質問受付）

〒400-8501 山梨県甲府市丸の内一丁目6番1号（山梨県庁本館6階）  
山梨県農政部 販売・輸出支援課 海外輸出支援担当  
電話 055-223-1597

電子メールアドレス nou-han@pref.yamanashi.lg.jp

## (2) 企画提案に関する質問の受付

本件に関する質問は、質問書（様式1）により受け付ける。

- ・ 受付期限 令和5年9月7日（木）午後3時必着
- ・ 質問方法 電子メール
- ※ 電子メールの件名には「県産農畜水産物輸出品目拡大方針作成業務企画提案質問」と記載すること。
- ・ 回答方法 回答は、令和5年9月11日（月）までに山梨県庁公式サイト内の本業務募集ページにおいて公開する。
- ・ その他 電話や口頭での質問には応じない。また、本企画提案に関係のない質問や、本企画提案に公平性を保てないと判断した場合などには、回答をしないこともある。

## (3) 参加申込書類の提出

### ア 参加申込書類

本件企画提案募集に応募する者は、次の書類を提出すること（各1部）。

- ① 参加申込書（様式2）
  - ② 誓約書（様式3-1）
  - ③ 役員名簿（様式3-2）
  - ④ 会社概要が把握可能な書類（会社パンフレットなど）
  - ⑤ 国税納税証明書（その3の3）（税務署で交付される様式）
  - ⑥ 都道府県税納税証明書（都道府県税に未納がない旨の証明書）（都道府県で交付される様式）
- ※ ⑤及び⑥は、電子発行された納税証明書を印刷したものではなく、書面の納税証明書の原本を提出すること。

### イ 参加申込書類の提出期限・提出方法

- ・ 提出期限 令和5年9月19日（火）午後5時必着
- ・ 提出方法 郵送又は持参
- ※ 持参の場合の受付は、平日の午前9時から午後5時とする。
- ※ 平日とは、山梨県の休日を守る条例（平成元年3月27日条例第6号）に定める県の休日以外を指すものとし、以下同様とする。

## (4) 企画提案書類の提出

### ア 企画提案書類

本業務に企画提案をする者は、次の書類を提出すること。

- ① 企画提案書かがみ（様式4） 1部
- ② 企画提案書（様式4-1） 10部（正本1部、写9部）

- ③ 見積書（任意様式・積算内訳を記載） 10部（正本1部、写9部）
- ④ 財務諸表（直近2期分）（損益計算書及び貸借対照表）  
10部（正本1部、写9部）
- ⑤ ①～④の電子データを記録したCD-R等 1枚

#### イ 企画提案書類作成上の注意点

- ・ 企画提案審査は審査委員が企画提案者を特定できない方法で運営するため、アの写し9部は、企画提案者名が分からないよう印刷すること。
- ・ 企画提案書（様式4-1）は、作成上の留意点や必須記載項目を厳守し、作成すること。特に、企画提案者の名称を記載するのは正本1部の表紙のみとし、その他の部分には一切記入しないこと。
- ・ 見積書には、仕様5（2）～（4）を踏まえてそれぞれの経費明細を記載すること。また、正本1部にのみ、企画提案者が分かる情報（企画提案者名、住所など）を記載すること。

#### ウ 企画提案書類の提出期限・提出方法

- ・ 提出期限 令和5年9月25日（月）午後5時必着
- ・ 提出方法 郵送又は持参
- ※ 持参の場合の受付は、平日の午前9時から午後5時とする。

#### エ 企画提案が無効となる場合

次のいずれかに該当する場合は、企画提案は無効とする。

- ・ この要領に定める手続きに適合しない場合
- ・ 提出書類に虚偽の記載があった場合

#### （5）選定方法等

- ・ 別紙「県産農畜水産物輸出品目拡大方針作成業務に係る委託候補者選定の手順及び審査の基準」のとおりとする。
- ・ 企画提案審査は、提出のあった企画提案書類をもとに、プレゼンテーション（15分）と質疑応答（10分）により行うが、企画提案応募者数によっては、時間を短縮する場合がある。
- ※ 令和5年9月29日（金）を予定。
- ※ 場所は山梨県庁内の会議室で行い、オンラインでの参加は認めない。
- ・ 企画提案審査の実施詳細は企画提案者にメールにて通知する。
- ・ プレゼンテーション時に追加資料の提出はできないものとする。また、既に提出された企画提案書類の差し替えについてもできないものとする。
- ・ 企画提案審査は、企業ノウハウの流出防止及び委託候補者選定の公正性確保のため非公開とする。

- ・ 企画提案審査結果をもとに、県が委託候補者を決定し、当該事業者との契約手続きを行う。ただし、第1順位の委託候補者が契約を締結しないときは、次点の者と契約の交渉を行うものとする。

## 6 選定結果の通知・公表

- ・ 選定如何に関わらず、企画提案者にはそれぞれの審査結果を個別に通知する。
- ・ 選定結果と契約内容は、契約締結後、山梨県のホームページで公表する。
- ・ ホームページでの公表の内容は、評価基準、配点及び各企画提案者の評価基準毎の得点と総合点、契約者の名称、契約締結年月日、契約金額とする。ただし、契約者以外の企画提案者の名称は公表しないものとする。

## 7 契約に関する事項

- ・ 契約書は2通作成し、双方記名押印して、各自1通を所持するものとする。
- ・ 山梨県財務規則第109条の2に該当する場合、契約保証金は免除する。
- ・ 原則、企画提案書に記載された事項に基づき業務を遂行するものとし、必要に応じて本件契約時の仕様書に反映するものとする。ただし、業務の目的のため必要な場合には、内容を追加、変更又は削除する場合がある。

## 8 その他

### (1) 企画提案及び契約手続き、並びに、業務実施における山梨県との間で使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨とする。

### (2) 提出書類の取り扱い

- ・ 企画提案者が山梨県に提出した書類（以下「提出書類」という。）に含まれる著作物の著作権は、当該企画提案者に帰属する。ただし、採択された企画提案者の企画提案書を除く。
- ・ 提案内容に含まれる特許権など、日本国の法令に基づいて保護されている第三者の権利の対象となっているものを使用した結果生じた責任は、原則として企画提案者が負うものとする。
- ・ 提出書類は返却しない。

### (3) 企画提案応募に関する費用負担

- ・ 提案者が本企画提案応募に要した一切の費用については、すべて企画提案者自身の負担とする。
- ・ 契約を締結するまでの間、本要領に定めた条件を満たさない事態が発生した場合には、契約を締結しないことがある。
- ・ なお、手続きの停止又は契約を解除した場合でも、当該業務に要した費用については、一切補償しないものとする。

#### **(4) 説明会**

企画提案に関する説明会は行わない。

#### **(5) 山梨県との連絡・調整**

受託事業者に選定された場合には、県の担当職員と密接な連絡・調整を行いながら業務を進めることとする。

### **9 本件に関する問い合わせ先**

山梨県農政部 販売・輸出支援課 海外輸出支援担当 庄・樋口

住所 山梨県甲府市丸の内一丁目6番1号

電話 (直通) 055-223-1597

電子メールアドレス nou-han@pref.yamanashi.lg.jp